

多摩あおばクリニカルリーダー(看護師)

	クリニカルリーダー到達目標	レベル別研修	研修のねらい	研修内容	具体的な評価項目
新人 1年目	<ul style="list-style-type: none"> マニュアルや手引きに沿って指導を受けながら看護を展開している チームメンバーの役割を理解し、日々の活動の中で役割の一部を遂行する 指導者のアドバイスや協力のもと日々の課題を学習している 院内研修に参加し、積極的に学習している マニュアルを参考に基本的な看護技術を安全かつ確実に実施する 日々遭遇する課題を自主的に学習する 	総合基本オリエンテーション	組織の概要・組織人としての心構え及び精神科の特徴について学ぶ	病院の理念・構造・機能、看護部理念・目標、精神科の特徴、安全管理や感染対策の基本	<ul style="list-style-type: none"> 業務に支障をきたさないようわからないことは相談したり質問したりしている その日の受け持ち患者の状態に関して必要な事柄をリーダーに報告している 指示されたことは安全に行なっている 業務に支障をきたさないよう必要に応じて他のスタッフに援助を依頼している 日々課題を見つけて解決方法を探している 院内研修に参加し積極的に学習している 職場に適応し、社会人としての自覚と責任を持っている 看護技術チェックリストの評価は、第1段階が3以上、第2段階は2or3である
		自己目標の設定 技術指導	経験を考慮し指導者と1年間の目標を設定	指導者(プリセプター及び看護師長)と話し合い課題を見出す	
		病棟オリエンテーション	各病棟の特徴、組織、構造及び業務の流れ、勤務体制、防災体制などについて学び、チームの一員として行動できるようにする	業務基準・手順、病棟の日課、週間・月間予定、業務の流れ、設備等について学ぶ	
		新入職者研修	精神科医療の歴史・法律を理解し看護実践に必要な基本的知識、安全な看護技術を習得する	精神保健福祉法、主な精神疾患、看護方法・技術、他職種の業務と連携について学ぶ	
		医療安全推進委員会研修① ICT委員会研修①	院内で起こる事故の傾向と対策を知る ICTの活動について知る	報告書の年間統計・報告書の位置づけ標準予防策やICTの役割について学ぶ	
		行動制限 最小化委員会研修①	隔離・拘束の原則や手順を学び 安全で確実な拘束技術を習得する	拘束の手順・隔離拘束の年間統計	
		看護倫理	精神科看護における基本的人権を学ぶ	医療の倫理原則に関して学び、事例を通して倫理的葛藤にどう対処するかを議論し、意思決定する	
1人前 2年目	<ul style="list-style-type: none"> 必要時指導を受けながら患者の状態を判断し看護できる 担当看護師としての役割が果たせる 各種カンファレンスで発言できる 日勤リーダーの役割が理解でき指導を受けながら業務できる 	ER・ABC訓練	緊急時の対処法を習得する	激しい興奮や救命時の対処法	<ul style="list-style-type: none"> 指導を受けながらアセスメントに基づいた看護を提供している 受け持ち患者の全体像をつかみ、看護過程を展開している 各種カンファレンスで発言できる 看護技術チェックリストの評価は、第1段階が4以上、第2～5段階は3以上である
		ICT委員会研修	医療器具や手技の見直しによる感染対策方法を習得する	医療器具の取り扱い方・手洗いなど	
		褥瘡対策委員会研修	主に高齢者に向けた最新の予防策と治療法を知る	体位交換・除圧、ステージに沿った処置法など	
		事例検討会	受け持ち患者に対するケアを振り返り、その後のケアにつながるように知恵を出し合う	受け持ち患者の全体像を説明し、自分がどのようにアセスメントしなにかを説明し、参加者が意見を述べ合う	
		プリセプター養成研修会	プリセプターに必要な知識と技術を学ぶ	プリセプティの能力を引き出すためのティーチングとコーチングの実際	
中堅 3年以上	<ul style="list-style-type: none"> 意図的に情報収集し患者の反応を見ながら個別的にケアできる 日勤リーダーの役割が発揮できる 指導を受けながら病棟内の事例検討ができる 	医療安全推進委員会研修②	当院看護部における医療安全および行動制限の問題を明確にしてチームメンバーに指導できる	事故報告書を分析し、リスクを低減するための改善策を考える	<ul style="list-style-type: none"> 意図的に患者の情報収集、アセスメントを行い、判断に基づいた看護を提供している 日勤リーダー業務をまかされたときには、適切に医師に情報を伝え、病棟の動きを把握して指示を出している 指導を受けながら事例検討ができる 看護技術チェックリストの評価は全ての項目が4以上である
		行動制限 最小化委員会研修②		事例を通して行動制限を少なくするために何が必要かを議論する	
		リーダーシップ研修	自己分析と他者理解・組織論・リーダーシップ論を学ぶ	演習を通して、自らのリーダースタイルに気づくと同時に他者のスタイルからリーダーの在り方を学ぶ	
		看護倫理	精神科看護における倫理的配慮を常に意識できる	病棟で生じている倫理的葛藤状態を解決するためには何が必要かを議論する	
		院内研究発表会			
達人	<ul style="list-style-type: none"> 理論や根拠に基づいた看護実践ができる 専門的知識や技術を習得し看護実践の役割モデルになれる 院内の看護研究に取り組むことができる 	自らの資質を認識するとともに、自ら目標を定めて管理コースと専門コースを選択する 院外の各種研修会に積極的に参加し、自己研鑽に努める 看護技術チェックリストにおいてすべての項目の評価が5である(自分の弱点を認識し、できない部分をできるように努力すると同時にできる人に援助を求める)			

多摩あおばクリニカルリーダー(准看護師)

	クリニカルリーダー到達目標	レベル別研修	研修のねらい	研修内容	具体的な評価項目
新人 1年目	<ul style="list-style-type: none"> マニュアルや手引きに沿って指導を受けながら看護を展開している チームメンバーの役割を理解し、日々の活動の中で役割の一部を遂行する 指導者のアドバイスや協力のもと日々の課題を学習している 院内研修に参加し、積極的に学習している マニュアルを参考に基本的な看護技術を安全かつ確実に実施する 指導を受けながら、チームメンバーの役割を遂行できる 日々遭遇する課題を自主的に学習する 	総合基本オリエンテーション	組織の概要・組織人としての心構え及び精神科の特徴について学ぶ	病院の理念・構造・機能、看護部理念・目標、精神科の特徴、安全管理や感染対策の基本	<ul style="list-style-type: none"> 業務に支障をきたさないようわからないことは相談したり質問したりしている その日の受け持ち患者の状態に関して必要な事柄をリーダーに報告している 指示されたことは安全に行なっている 業務に支障をきたさないよう必要に応じて他のスタッフに援助を依頼している 日々課題を見つけて解決方法を探している 院内研修に参加し積極的に学習している 職場に適応し、社会人としての自覚と責任を持っている 看護技術チェックリストの評価は、第1段階が3以上、第2段階は2or3である
		自己目標の設定 技術指導	経験を考慮し指導者と1年間の目標を設定	指導者(プリセプター及び看護師長)と話し合い課題を見出す	
		病棟オリエンテーション	各病棟の特徴、組織、構造及び業務の流れ、勤務体制、防災体制などについて学び、チームの一員として行動できるようにする	業務基準・手順、病棟の日課、週間・月間予定、業務の流れ、設備等について学ぶ	
		新入職者研修	精神科医療の歴史・法律を理解し看護実践に必要な基本的知識、安全な看護技術を習得する	精神保健福祉法、主な精神疾患、看護方法・技術、他職種の業務と連携について学ぶ	
		医療安全推進委員会研修① ICT委員会研修①	院内で起こる事故の傾向と対策を知る ICTの活動について知る	報告書の年間統計・報告書の位置づけ 標準予防策やICTの役割について学ぶ	
		行動制限 最小化委員会研修①	隔離・拘束の原則や手順を学び 安全で確実な拘束技術を習得する	拘束の手順・隔離拘束の年間統計	
		看護倫理	精神科看護における基本的人権を学ぶ	医療の倫理原則に関して学び、事例を通して倫理的葛藤にどう対処するかを議論し、意思決定する	
1人前 2年目	<ul style="list-style-type: none"> 必要時指導を受けながら患者の状態に合わせて看護できる リーダーに相談しながら担当看護師としての役割が果たせる 各種カンファレンスで発言できる 日勤リーダーの役割を理解し、補助の役割を遂行できる 	ER・ABC訓練	緊急時の対処法を習得する	激しい興奮や救命時の対処法	<ul style="list-style-type: none"> 指導を受けながらアセスメントに基づいた看護を提供している 受け持ち患者の全体像をつかみ、看護過程を展開している 各種カンファレンスで発言できる 看護技術チェックリストの評価は、第1段階が4以上、第2～5段階は3以上である
		ICT委員会研修	医療器具や手技の見直しによる感染対策方法を習得する	医療器具の取り扱い方・手洗いなど	
		褥瘡対策委員会研修	主に高齢者に向けた最新の予防策と治療法を知る	体位交換・除圧、ステージに沿った処置法など	
		事例検討会	受け持ち患者に対するケアを振り返り、その後のケアにつながるように知恵を出し合う	受け持ち患者の全体像を説明し、自分がどのようにアセスメントしなをしたかを説明し、参加者が意見を述べ合う	
		プリセプター養成研修会	プリセプターに必要な知識と技術を学ぶ	プリセプティの能力を引き出すためのティーチングとコーチングの実践	
中堅 3年以上	<ul style="list-style-type: none"> 意図的に情報収集し患者の反応を見ながら個別にケアできる 指導を受けながら病棟内の事例検討ができる 	医療安全推進委員会研修② 行動制限 最小化委員会研修②	当院看護部における医療安全および行動制限の問題を明確にしてチームメンバーに指導できる	事故報告書を分析し、リスクを低減するための改善策を考える 事例を通して行動制限を少なくするためには何が必要かを議論する	<ul style="list-style-type: none"> 意図的に患者の情報収集、アセスメントを行い、判断に基づいた看護を提供している 日勤リーダー業務をまかされたときには、適切に医師に情報を伝え、病棟の動きを把握して指示を出している 指導を受けながら事例検討ができる 看護技術チェックリストの評価は全ての項目が4以上である
		リーダーシップ研修	自己分析と他者理解・組織論・リーダーシップ論を学ぶ	演習を通して、自らのリーダースタイルに気づくと同時に他者のスタイルからリーダーの在り方を学ぶ	
		看護倫理	精神科看護における倫理的配慮を常に意識できる	病棟で生じている倫理的葛藤状態を解決するためには何が必要かを議論する	
		院内研究発表会			
達人	<ul style="list-style-type: none"> 理論や根拠に基づいた看護実践ができる 専門的知識や技術を習得し看護実践の役割モデルになれる 院内の看護研究に取り組むことができる 	自らの資質を認識するとともに、自ら目標を定めて管理コースと専門コースを選択する 院外の各種研修会に積極的に参加し、自己研鑽に努める 看護技術チェックリストにおいてすべての項目の評価が5である(自分の弱点を認識し、できない部分をできるように努力すると同時にできる人に援助を求める)			

管 理 コ ー ス			
副主任 主任	<ul style="list-style-type: none"> ・病棟での看護実践における役割モデルになれる ・チームリーダーとしての役割が発揮でき、自立して行動できる ・看護単位内での教育や委員会において指導的役割となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・質の高い実践に加えて、組織的な役割を遂行している ・専門性の追求および所属の目標達成に貢献している ・患者の危機的状況を瞬時に判断しリーダーシップをとる ・安全対策、観戦予防の視点から所属部署の問題を考えている ・他部門との円滑なコミュニケーションをはかり、所属を超えて求められる役割を遂行する ・指導的役割を遂行し後輩育成の役割を担う ・看護業務の円滑な運営のために管理者を補佐する ・他部門と積極的に協働し、看護業務の円滑な運営をはかる ・倫理的問題に対して教育的役割を果たす ・広く院外にネットワークをもち看護活動に貢献する ・研究的取り組みをし、結果を臨床に応用する 	
師長	<ul style="list-style-type: none"> ・病院全体の運営を考えることができる ・他部署との連携を図りつつ、日々の業務を推敲できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな場面で新しい情報を取り入れ、問題解決や目標達成に向けて効率的に行動する ・担当組織(病棟)の目標、業務計画を策定し、スタッフに浸透・徹底させる ・スタッフの持ち味や強みを把握し、目標の達成や業務計画にそれを活用する ・スタッフが納得できる評価をし、人材育成に活かす(葛藤が生じた場合納得のできる説明を行う) ・担当組織の運営状況を把握し、改善等によって業務効率を高める ・病院全体を俯瞰した業務改善や業務計画等の提案をする ・人材育成を通じて担当組織全体のレベルアップを図り、次世代の管理者を育成する ・他部門との連携を積極的に行い、協働活動を推進する ・病院の理念、使命、看護部の理念、目標、方針を理解し、自分の言葉で語る 	
専 門 コ ー ス			
専門看護師	精神科専門看護師 CNS	看護系大学院で指定の単位を取得後 CNSの試験に合格する	<ul style="list-style-type: none"> ・理論や根拠に基づいた看護実践をしている ・専門コースにあげたような専門的知識・技術を習得し看護実践モデルの役割を果たしている ・看護単位内での教育や委員会において指導的役割を果たしている
認定看護師	退院調整、行動制限最小化看護、うつ病看護、薬物療法看護、司法精神看護、児童・思春期看護、薬物・アルコール依存症看護、精神科身体合併症看護、老年期精神障害看護、精神科訪問看護	日本精神科看護技術協会の研修で指定された単位を取得し試験に合格する	
リスクマネージャー(専従・専任)		日本看護協会・日本精神科病院協会などの研修を受講する	
CVPPPインストラクター		独立行政法人や日本精神科看護技術協会で開催される研修を受講する	
実習指導者	精神科看護実習における実習指導者の資格を獲得する	日本看護協会、日本精神科看護技術協会で開催された研修を受講する	
あおば認定看護師	救急看護、感染管理、嚥下障害看護など	救急講習受講、BLS、ACLSの取得など	
	ER	CVPPPTレーナー取得など	
	褥瘡看護		
	看護研究・教育	看護系大学、看護系大学院で看護研究の方法などを学ぶ	